

中1

英語

ポイント

名前 _____

be動詞(am・are)

_____ 月 _____ 日

まとめ be動詞(am・are)

Here We Go! 1 Unit 1・2

標準

「～です」は be動詞(am / are)で表す。否定文は be動詞のあとに not、疑問文は be動詞を主語の前に出す。

ふつうの文

I **am** a student.

私は生徒です。

否定文

I **am not** a student.

私は生徒ではありません。

疑問文

Are you a student?

あなたは生徒ですか。

答え方

Yes, I **am**. / No, I'm **not**.

はい、そうです。 / いいえ、ちがいます。

ポイント1 主語が I のときは am、you・we・they など(2人以上もふくむ)のときは are を使う。

ポイント2 否定文は be動詞のあとに not を置く。are not は aren't、I am は I'm と短くできる(am not は短くしない)。

ポイント3 疑問文は be動詞を主語の前に出し、文の最後に ? をつける。答えるときも be動詞を使う。

ポイント4 主語が2人以上のときは、あとの名詞も複数の形にする(a student → students)。

例

(1) You are busy.

→ Are you busy?

You **are** busy. → **Are** you busy?

疑問文 → be動詞を主語の前に出す

(2) We are tennis players.

→ We are not tennis players.

We are **not** tennis players.

否定文 → be動詞のあとに not

(3) I am a student.

→ We are students.

I **am** a student. → **We are** student**s**.

主語が2人以上 → are。名詞も複数の形に

